

令和7年8月10日発行

夏の  
煌めき



CONTENTS No.87

|                   |        |
|-------------------|--------|
| 議会をPick-Up! ..... | 2-3P   |
| 一般質問 .....        | 4-8P   |
| 会派通信 .....        | 9P     |
| 議案の審議結果 .....     | 10-11P |
| 小学生傍聴 .....       | 12P    |

(写真：十日町総合高校写真部)



新市誕生20周年を市民  
とお祝いするための記念  
式典を令和7年11月1日  
に開催する予定です。

●新市誕生20周年記念式  
典事業

高齢者を対象にした運  
賃補助や、市内店舗と連  
携した取り組みを行うこ  
とで、公共交通の利用促  
進を図ります。

●公共交通利用アップ等  
推進事業

(主な事業および内容)

Pick-Up  
01

## 一般会計補正予算〔第2号〕

第3回臨時会では、市長提出議案として新規事業や  
投資的事業などの「政策的経費」を中心とした肉付け  
予算(補正予算) 6件を審議しました。

## ●議会をPick-Up!

# 5月臨時会 (第3回)

令和7年第3回臨時会

会期 5月28日(30日)(3日間)

審議の結果は、10ページに掲載

介護現場の人材不足の  
解消及び介護従事者の負  
担軽減や業務の効率化を  
図るため、介護サービス  
事業所等運営している  
法人に対し、人材確保に  
関する必要な経費の一部  
を補助します。

●介護人材確保・介護テ  
クノロジー導入支援事  
業

窓口における市民の待  
機時間の短縮などを図る  
ため、マイナンバーカー  
ドを活用して各種証明書  
を取得できる「らくらく  
窓口証明書交付システ  
ム」を導入します。

●証明書コンビニ交付事  
業

●保育園等副食費支援事  
業

保育園等の副食費につ  
いて、物価高騰の中、子  
育て世帯の負担軽減のた  
め、令和6年度に引き続  
き、公立保育園について  
は、食材費の増額分を支  
援します。また、私立保  
育園等については、公立  
保育園の支援額と同額を  
補助金として支給します。

●母子健康診査委託事業

出生後おおむね1カ月  
を経過した乳児に実施す  
る健康診査費用を全額助  
成します。



●省エネ家電等買替促進  
補助事業

物価高騰による家庭の  
エネルギー費用負担軽減  
を図るため、省エネ家電  
への買換えに対して、費  
用の一部を助成します。  
※市内店舗・事業者を利  
用したものに限りません。

●ミッション型地域おこ  
し協力隊活用事業

基幹産業の1つである  
農業の持続的な発展のた  
めに、就農に関心のある  
方への情報発信や就農支  
援、就農相談会への参加、  
行政機関との橋渡しなど  
に外部人材(ミッション  
型地域おこし協力隊)を  
活用します。また、市移  
住相談窓口と連携するこ  
とで、就農に関心のある  
方や、棚田など新たな価  
値観や働き方を求める多  
様な担い手の確保を推進  
します。

●就職活動支援事業

市内企業の人材確保と  
市外大学生等のU・Iタ  
ーン就職の促進を図るた  
め、市内企業が実施する  
インターンシップ、会社  
説明会、職場見学会、就  
職試験等の参加者及び実  
施企業に対して必要な経  
費(移動費・  
宿泊費  
等)の一  
部を補  
助し  
ます。



●幼保小連携・小学校下  
学年担当指導主事配置  
事業

非常勤指導主事1人を  
配置し、幼保小の連携を  
推進するとともに、小  
学校下学年の学級づく  
り・授業づくりに対して  
指導助言を行います。ま  
た、幼保小の連携にかか  
る研修会の企画運営のほ  
か、小学校下学年の学級  
担任の相談役として、学  
校の要請に応じた訪問指  
導等を行います。

●小学校下学年学力向上  
支援事業

教員免許を有する学習  
支援員5人を配置し、小  
学校下学年において学級  
担任と連携した個別の学  
習指導を通して、小学校  
下学年の基礎学力の定着  
と向上を図り、新規不登  
校児童の発生率の低減に  
取り組みます。



●学校給食用食材費高騰  
対策事業

現下の食材高騰の状況  
が今後も継続すると見込  
まれることから、国の交  
付金を活用して、学校給  
食費にかかる保護者負担  
について、1食当たり小  
学校41円、中学校63円の  
軽減を図ります。



幼児教育

小学校教育

# 6月定例会

● 議会をPick-Up!

令和7年第2回定例会  
会期 6月20日～7月1日(12日間)  
審議の結果は、10から11ページに掲載

6月の定例会では、市長提出議案として20件、議会提出議案3件を審議しました。

Pick-Up  
01

## 一般会計補正予算(第3号)

(主な事業および内容)

● 交通安全対策事業

(株)十日町自動車学校様からの寄附金を活用し、カーブミラーの新設および老朽化や破損による交換を行う町内・集落に対して必要な現物を支給します。



● 看護師、理学療法士等  
修学資金貸与事業

将来市内で医療や介護分野の業務に従事しようとする学生に対する修学

資金貸与事業について、新規申請者が当初の見込みを上回ったことから、不足分の事業費を追加します。



● 清田山キャンプ場施設整備事業

清田山キャンプ場研修棟(自然落雪式屋根)が、今冬の大雪の影響で大規模に損壊し危険な状態となっているため、早期に解体します。

● 十日町地域消雪パイプ  
改修事業

田川町2丁目2号線等の消雪井戸を修繕するための工事費を増額します。

● 学区適正化検討事業

学区適正化を進めるにあたり、「新しい十日町市立中学校をつくる検討会(仮)」を立ち上げ、検討を進めていきます。



● 一般管理費(新潟県アントレプレナーシップ教育推進モデル事業)

地域人材や団体との連携を通して、農産物の生産とその活用に関する総合的な学習及び生活科等の学習活動を深化させるとともに、学習プログラムを効率的に実践するためのガイドブックを作成します。

● 教育系ネットワーク管理費

平成17年に整備したネットワーク機器であるメディアコンバーターの伝送速度が、最大100MB対応となっており、現状では人数によって学習環境に支障をきたしている学校があることから、1GBに対応の機器に変更します。また、Wi-Fiの電波が届かない特別教室について、Wi-Fiのアクセスポイントを追加し、学習環境の改善を図ります。



Pick-Up  
02

## 契約の締結

● 財産の取得

【厨房機器購入】

中央学校給食センターにおいて、1台で加熱調理と急速冷却が行え、作業時間の短縮と移し替え時に生じる食材の二次汚染を防止できる厨房機器を購入します。

【避難所用物品購入】

指定避難所の生活環境の改善を図るため、簡易ベッド2,200台、間仕切りテント390台を購入します。



Pick-Up  
03

## 人事議案

任期満了に伴う人事議案が提出され、同意しました。

【監査委員】

高橋昇男氏

【人権擁護委員】

島田昌代氏

押木正美氏

井ノ川歩氏

【副市長】

池田克也氏

## 永年在職表彰

去る4月15日に開催された第100回北信越市議会議長会定期総会、および5月20日に開催された第101回全国市議会議長会定期総会において、永年在職表彰を受けました。

◎在職20年以上

鈴木和雄氏

# ココが聞きたい！一般質問

一般質問は、議員個人が問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる唯一の機会です。今回は、9人が私たちの生活に関わることについて質問をしました。

| 質問議員 | 質問事項                       | ページ |
|------|----------------------------|-----|
| 星名大輔 | ナカゴ・節黒城エリアの整備・国保川西診療所の門前薬局 | 4   |
| 根津年夫 | 雪対策とスポーツを通じた健康づくりについて      | 5   |
| 滝沢青葉 | コメ価格の高騰対策と農業生産者の振興対策について   | 5   |
| 中林寛暁 | 十日町市立地適正化計画・障害者差別解消法について   | 6   |
| 滝沢繁  | 過疎地域医療削減は何故・地域振興と学区再編について  | 6   |

| 質問議員  | 質問事項                     | ページ |
|-------|--------------------------|-----|
| 市川直子  | 投票率の向上とふるさと回帰支援事業補助金について | 7   |
| 富井春美  | 住み慣れた地域で生活できる介護施設の充実を    | 7   |
| 樋口富行  | 暮らしと農業を応援し元気な地域づくりを目指して  | 8   |
| 大嶋由紀子 | 止まらない少子化について             | 8   |

**答弁** 国保川西診療所の門前薬局での調剤取りやめに伴う今後の代替案として、薬剤師が薬の配達を行っている市内の薬局にご協力をいただき、高齢者など移動手段を持たない人が、受診後

**質問** 国保川西診療所の門前薬局が調剤を止めました。今後の代替案について伺います。

ナカゴ・節黒城跡の立木の伐採など再整備に着手しており、ナカゴグリーンパークにつきましては、今年度から地元関係団体の意見を聞きながら具体的な計画づくりに着手します。ナカゴ、節黒城跡が文化観光の新たな拠点となるよう取り組みを進めます。

**答弁** ナカゴグリーンパークと節黒城跡について、魅力向上をめざした自然や歴史・文化に触れられる新拠点とするための再整備を進めています。越後湯沢駅から清津峡や博物館への人の流れを市内にも広げるため、東側の笹山縄文広場とともに、西側のナカゴグリーンパーク、節黒城跡を再整備し、市内への回遊を促進する考えです。既に節黒城跡の立木の伐採など再整備に着手しており、ナカゴグリーンパークにつきましては、今年度から地元関係団体の意見を聞きながら具体的な計画づくりに着手します。ナカゴ、節黒城跡が文化観光の新たな拠点となるよう取り組みを進めます。

**質問** 先般の十日町市長選挙の際に関

口市長が訴えかけておられていた川西の河岸段丘に文化観光の新拠点を整備することについて伺います。



ナカゴ・節黒城エリアの整備・国保川西診療所の門前薬局

星名大輔 議員



節黒城跡開山祭

円滑に薬が受け取られる体制を確保したいと考えています。そのため、薬の配達サービスでは薬局が定める配達料が本人負担となつていますが、当面の間、この配達料を全額支援します。このほか、受診日の夕方以降に負担を求めず、川西診療所まで薬を配達する薬局もあることから、患者への丁寧な情報提供に努めます。なお、薬剤師確保につきましては、現在市において直接的な支援はありませんが、関係機関から現場の状況などの聞き取りを行い、実効性のある支援策を検討します。



## 雪対策とスポーツを通じた健康づくりについて

根津 年夫 議員



**質問** 雪対策では①持続的な除雪体制のあり方と課題②流雪溝・消雪パイプの効果的・効率的な運用③克雪住宅の普及促進と雪下ろし作業時の安全対策④高齢者世帯・要援護世帯への雪処理支援体制についての4点伺います。

**答弁** ①人手不足への対策として、公共工事の労務単価の引き上げや、市独自の除雪基本料金支払制度、ICT技術の活用などを行っています。②流雪溝については、各地区からの要望を踏まえ、順次運用改善を図っております。消雪パイプについては、市民生活へ大きな影響が出ないよう、予防保全を考慮して、計画的な更新を進めています。③住宅の克雪化工事への補助や、雪下ろしが必要な住宅に対し命綱固定アンカー等の設置への補助などを実施しています。④非課税の高齢者世帯等で、自力で屋根の雪下ろしが困難な在宅に対し、雪処理券の配布や融雪屋根の燃料費の助成を行っています。

**質問** スポーツを通じた健康づくりでは、①市民の健康寿命の延伸に向けた取り組み②健康づくりによる地

域の活性化に向けた取り組み③スポーツ推進のための施設整備と熱中症対策についての3点伺います。

**答弁** ①第3次健康とおかまち21に基づき、各種検診、保健師による個別指導などを通じ、運動、栄養、健康管理のバランスが取れた包括的な取り組みを行っています。また、県の「にいがたヘルス&スポーツマイレージ事業」を積極的に活用していきます。②県の事業は、貯まったポイントを地域協力店で使用でき、地域活性化への効果が期待されます。③市内の体育施設では、安全かつ快適に利用できるように大規模改修や照明のLED化などを行っており、熱中症対策では注意喚起を行い、空調設備設置も検討しています。



## コメ価格の高騰対策と農業者の振興対策について

滝沢 青葉 議員



**質問** 令和6年産米をめぐる、コメの店頭価格が上昇している。また、一部店舗では地元産米が売り切れの状況である。①消費者目線として、市民の皆様にコメに限らず必要な食糧を供給できるとような対策の実施について伺う。②生産者目線として、当地域における米の生産振興対策と行政の支援対策について伺う。

**答弁** ①米の価格が上がることは、燃料や資機材などの物価高騰が続く中、農家の皆さんにとって追い風ではあります。前年同期と比べて約2倍となっており、特に昨年末からの急激な値上がりには違和感を持っています。消費者の理解を得た中で、米の価格が一定の範囲で安定するよう、備蓄米の放出や流通の可視化をはじめ、米政策の見直し、また所得補償による農家支援など、国の動向を注視しています。なお、物価高騰に対する市の経済対策として、今年度もプレミアム商品券の発行を予定しており、活用いただきたいと考えています。②市では昨年度末に国の農業経営基盤強化促進法に基づく地域計画を策定しました。この地域計画に掲げる地域農業の課題として、担い手の確保、経営規模の拡大、農地の集積・

集約化とし、持続可能な農業の実現に向けた重要なテーマとしています。市では生産性の向上、コスト削減につながる基盤整備の推進、また担い手の負担軽減につながるスマート農業の普及を図るとともに、経営規模拡大に意欲的な農業を担う者の確保と支援に努めていきます。また、評価と検証を繰り返し、それぞれの地域において話し合いや見直しを重ねながら、計画に掲げた目指すべき将来像に近づけていくことが重要であり、市もサポートしながら取り組みを進めていく所存です。





## 十日町市立地適正化計画・ 障害者差別解消法について

中林 寛 議員



**質問** 十日町市立地適正化計画において、「ネットワーク型コンパクトシティを目指す」とあるが、当市の考える「ネットワーク型コンパクトシティ」とは何か。また計画の中で、都市機能誘導区域と居住誘導区域が定められたが、どのように誘導していくのか。

**答弁** 当市が考えるネットワーク型コンパクトシティとは、中心市街地、郊外部、中山間、それぞれの特性を生かした地域づくりや、メリハリのある都市構造を維持しつつ、地域間を連絡する公共交通を確保し、コンパクトで利便性の高い市街地づくりを目指すものです。また、各誘導区域への誘導、集約については、十日町市立地適正化計画にある「中心部の更なる賑わいの創出」「安全・安心な住環境の形成」及び、「公共交通の利便性の向上」の誘導方針に基づき、施策を展開して誘導を図っていくものです。

**質問** 法改正により昨年より、「努力義務」であった、事業者による障がいのある人への合理的配慮の提供が「義務化」されました。市としてはどのように事業者に対し促進していくのか。

**答弁** 市内の事業者に対して、障がいをお持ちのお客様を迎える際の障壁を

解消するために、昨年度、店舗等バリアフリー改修支援事業を制度化し、3件の事業者が施設のバリアフリー化を実施しました。引き続きこの取り組みを普及するとともに、合理的配慮の提供などの啓発を図り、障がいのある方が安心して暮らせる共生社会を目指して進んでいく考えです。また、市の障がい者計画の評価組織である自立支援協議会の部会の中で、行政と情報を共有し、解決に向けて取り組んでいます。今年度からは新たに「社会参加部会」を設け、市内にどう還元していくかを協議していく予定です。

## ● 誘導区域について

|          |                                                                          |
|----------|--------------------------------------------------------------------------|
| 都市機能誘導区域 | 医療・福祉・商業等の都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に誘導し集約することにより、これら各種サービスの効率的な提供を図る区域。          |
| 居住誘導区域   | 人口減少の中にあっても一定のエリアで人口密度を維持することにより、生活サービスや地域コミュニティが持続的に確保されるように居住を誘導すべき区域。 |



## 過疎地域医療削減は何故・地域振興と学区再編について

滝沢 繁 議員



**質問** 市長は、前定例会で、松代病院は山間豪雪地域の住民の健康を守る大切な医療機関であると明言しました。県との交渉はどのようになっているのか伺います。

**答弁** これまで十日町病院建設事業や精神医療、また、昨年の十日町病院の分娩休止など、地域医療の多岐にわたる課題に関して、県と広範な意見や情報の交換を重ねてきました。松代病院につきましては、様々な機会を捉え、民間医療機関の参入が難しい山間豪雪地域の住民の健康を守る大切な医療機関であるとの認識を強く訴えてきたところですが、しかしながら、こうした取り組みを重ねてきた中で、県がリハビリ機能の強化を図るための改築に多くの費用を投じたにもかかわらず、松代病院の運営方針を変更したことに大変困惑しています。県が6月29日に開催する住民説明会での意見などを確認した上で、松代病院の今後の在り方について、県に対し市の考えをしっかりと伝える所存です。

**質問** 中学校の学区再編検討が進められています。松之山自治振興会では、人口を増やそうと部会を作り、頑張っています。今の再編案は、地域振興で

頑張る自治組織の活動と相対するのではないのでしょうか。

**答弁** 地域環境の変化や児童生徒の減少が続く、現在の学校の枠組みを維持することは困難と考えています。今後は、地域との交流は主に小学校が担い、中学校は、成長に合わせて世界を広げていく役割を担うため、充足した教職員定数の下で、最適な学びを充実させることが重要となります。学区再編は、地域特性を考慮しながら、子どもたちファーストで考えることが肝要であり、魅力的な中学校づくりとなるよう、社会総がかりで取り組んでいきます。



今のままの県立県営の有床病院として残して欲しい



## 投票率の向上とふるさと回帰 支援事業補助金について

市川直子 議員



**質問** 十日町市に愛着を持つためには、十日町市に興味を持つこと。第一歩として投票率の向上が良いと思うが、市民が市政に関心を持ち、自主的に関わっていくまちをどう実現していくかお聞かせください。

**答弁** 若い世代の方々は、地域の力の重要性を学ぶ中で、地域への関心は高まっていくものと感じています。18歳から選挙権を持つことになりましたが、保育園の頃からいろいろな事象を通じて教えていくことが重要であり、選挙教育だけでなく、例えば社会科や理科の学習などを通して市の施策を伝えることが肝要と考えます。選挙を通して選ばれた経験をした者として、1票の重みを市民に伝える責務があり、特に若い世代の方々にしっかりと発信していきたいと覚悟しましたし、議員の皆様にも広めていただきたいと願っています。

**質問** 選ばれて住み継がれるまちの実現のためにどのような要素がこのまちに住みたいと思わせる鍵となるか、経済的支援だけでなく、生活環境や人のつながりなど、包括的なビジョンがあればお聞かせください。

**答弁** 国勢調査時の14歳人口を100



## 住み慣れた地域で生活できる 介護施設の充実を

富井春美 議員



**質問** 市内の入所待機者が多い現状から、高齢者が住み慣れた地域で生活できるように介護サービス提供基盤について伺います。

①介護人材確保のために、大変な夜勤勤務に手当を支援する考えはあるか。  
②特別養護老人ホームについて、個室と多床室の入所費の最高額と最低額はどのようになるか。  
③閉鎖した松之山松濤園の施設を多床室のある特別養護老人ホーム等の施設に利用するという考えについて、市長はいかがか。

**答弁** ①介護人材確保に向けた補助金を制度化し、今回の肉付け予算に計上しました。この制度の策定に当たっては、市内の社会福祉法人からも意見を伺い、重要なポイントや要望などを踏まえた内容となっています。今後、人件費に関する要望がありましたら、第10期の介護保険事業計画策定時に検討したいと考えております。②最高入居費として、要介護度5の方でユニット型の個室に入所し、月31日で試算した場合、13万8,446円となります。これ以外に薬代や散髪代などが加算されると14万円を超える可能性があります。同様の計算で多床室では10万円くらいで入居は可能となります。なお、

所得段階の低い方が、ユニット型の個室で補足給付の適用を受けた場合、第2段階の方で計算すると、最終的に月あたりの負担額は5万4,370円程度になる計算です。③松濤園を利用して、多床室を中心とした特別養護老人ホームを運営してくださる事業者の方がいらつしやれば、市としてもバックアップしていく必要があると考えます。市が直接整備する施設ではありませんが、再利用に取り組んでくださる事業者の方が現れれば、市としても一緒に進めていく必要があると思っています。

### ●特別養護老人ホーム、特定施設入居者生活介護の利用者数

|          | 県内(人) | 県外(人) | 合計(人) |
|----------|-------|-------|-------|
| 令和5年4月1日 | 132   | 110   | 242   |
| 令和6年4月1日 | 130   | 133   | 263   |
| 令和7年4月1日 | 137   | 144   | 281   |

※市内施設を除く

### ●特別養護老人ホーム入所申込者数

| 令和5年4月1日 | 令和6年4月1日 | 令和7年4月1日 |
|----------|----------|----------|
| 345人     | 337人     | 277人     |



住み慣れた地域で暮らせる施設を！



## 暮らしと農業を応援し元気な 地域づくりを目指して

樋口 富行 議員



**質問** 10年後の地域農業を守るために、「地域計画」が法制化された。①「人・農地プラン」との違いは。②「地域計画」は何が目的か。

**答弁** ①人・農地プランは、認定農業者などの中心経営体に農地を集積する方針を示したもので、地域計画は中心経営体に副業や兼業農家などを加えた多様な人材を農業を担う者として位置づけ、農地を具体的に集積、集約する目標地図を示したものです。②各地域において将来の担い手に農業を引き継ぐために、課題と将来像を話し合って完成したものです。目標地図の作成作業には、各地域の農業委員や農地利用最適化推進委員の主導により、複数回の議論を重ねました。この地域計画に基づき、話し合いや見直しを続けながら、計画に掲げた目指すべき将来像に近づけていくために、市もサポートしながらこの取り組みを進めていきます。

**質問** 「人・農地プラン」では農業者の減少や耕作放棄地の拡大が懸念されていた。①2012年以降の農家の減少は。②耕作放棄地の拡大がどのようになったのか。③新規就農者は何人か。その中で、給付金等を利用したのは何人か伺う。



10年後の地域農業を誰が守るのか

**答弁** ①2010年は5,593戸、2015年は4,870戸、直近の2020年は3,845戸です。②国の作物統計調査における田畑の耕地面積の推移で見ると、2010年は7,150ヘクタール、2015年は7,070ヘクタール、2020年は7,030ヘクタールと、農地は減少傾向にあります。③2012年から昨年度末までの13年間で新規就農者数は合計239人です。また、この間に青年就農給付金及び農業次世代人材投資資金、新規就農者育成総合対策の利用者は延べ31人です。



## 止まらない少子化について

大嶋 由紀子 議員



**質問** ①止まらない少子化について、市長のお考え及び当市の少子化対策について伺います。また、今後のこの問題にどのように向き合い、政策を検討しているのかを伺います。②当市の令和6年度の出生数を教えてください。③少子化は市政運営にどのような影響があるのか、どのような問題が起きるかと考えか伺います。

**答弁** ①市では現在、10年先を見据えた第三次総合計画を策定中であり、その中で3つの視点で少子化対策を進めていきます。1つ目は子どもを産み育てたいと思える環境の整備として、出合いの機会の提供や不妊治療費の助成、保育料を国の基準より低く設定するなど、結婚から子育てまでの環境づくりへの支援に引き続き取り組めます。2つ目は、若者の市内定住の促進として、高校卒業後も市内に住み続けて活躍する若者への支援に取り組みます。3つ目に、若者や女性を呼び込むために、市の魅力発信や、移住支援制度、移住相談体制などの充実を図っていきます。②令和6年は、暫定値となりますが、164人で



地域全体で子どもたちを育む環境が大切です

す。参考までに、令和5年は190人です。③少子化ということは将来の市政を支える人口が少なくなるということです。20年後、市の65歳以上の割合は約50%に到達していくという予測が立っています。昔は3、4人で1人の高齢者を支えていましたが、今は1人が1人以上の高齢者を支える社会がすぐそこにあるという現実があります。市においてもエッセンシャルワーカーの人手不足がすでに進行している状況であり、今後さらに厳しくなっていくことが予想されます。そのようなことから、憂慮すべき未来がすぐそこ迫っていると感じています。

※人々の基本的な生活やインフラなどの維持に、必要不可欠な職種の従事者



# 会 派 通 信



4月の改選より、新たに結成された会派を含め全4会派を紹介します。

※当市議会では、会派制を採用しており、会派を中心として議会運営を行っています。

## かがやき

「かがやき」は、性別・年代・地域の違いを越えて集まった多様な議員で構成されています。それぞれが現場の声を大切に、市民の皆さまにとって本当に有益となる市政とは何かを常に考えながら、日々行動しています。

令和7年、アフターコロナの新しい時代を迎えた十日町市において、短期的な課題への対応だけでなく、十年先、二十年先といった長期的な視点でも物事を見つめ、政策を提案・実行していくことが私たちの使命です。「市民全員が輝く」未来の実現に向け、これからも誠実に市政に取り組んでまいります。

### 会派長

富井 高志  
山家 悠平  
水落 静子  
鈴木 一郎  
鈴木 直子  
滝沢 青葉

## 希 望

『現在より未来を良いものにした』という思いを込めて会派名を『希望』としました。私たちは、市民の皆さんの生活に明るい光が差し込む、そんな活動を目指していきます。市民の皆さんのご意見やご要望をお聴きして、その問題解決に向け全力で取り組みます。そして、それぞれの地域の特性や資源を活かし、市民の皆さんが安心して暮らせる環境の整備にも尽力してまいります。

また、市民の皆さんの負託にこたえた議会活動をするため、会派内での意見交換や勉強会を充実させ、是々非々の立場で政策を提言していきたいと思っています。長期的にこの地域に住み続けたいと思える『希望』の持てる十日町市に向けて、謙虚に誠実に努力してまいります。

### 会派長

根津 年夫  
中林 寛暁  
遠田 延雄  
大嶋 由紀子

## 新成会（しんせいかい）

日常活動では、徹底して現場の声を聴かせていただく「市民相談」に取り組み、頂いた現場の声は一つでも多く実現できるように、4人の議員全員で協議し意見を交わし、力を合わせて、議会活動の中で積極的に提案します。小さな意見にも耳を傾けこれから生まれてくる子どもたちが安心して暮らせるまちづくり、子育て支援、教育環境の整備、観光振興、中心市街地の活性化、農業大国十日町の支援、地域産業の育成などの様々な課題に、行動力をもって取り組んできたいです。そして市民目線を持ち続け、市民の思いを一つにしながら、新しい十日町の未来に向けて、一步一步確実に前進し、市民の皆さんが安心して住み継がれる十日町を目指し取り組みでまいります。

### 会派長

星名 大輔  
野沢 浩平  
福崎 哲也  
俵山 裕

## 日本共産党 十日町市議会団

改選選挙で掲げた公約の実現に努め、市民の皆さんが十日町に「住み続けたい」「住んで良かった」と思われるようなまちづくりを進めたいと考えています。県立病院の存続と地域医療、福祉、教育の充実と、地域づくりのために、皆さんと力を合わせて活動してまいります。基幹産業である農業では、物価高騰による資材費の上昇で、再生産に意欲が持てない状況にしっかりと向き合っていきます。除雪支援や国民健康保険税の均等割の解消など、負担軽減に努力します。憲法を守り、東京電力柏崎刈羽原子力発電所の再稼働を許さない活動に力を尽くします。

### 会派長

滝沢 繁  
富井 春美  
樋口 富行



会派とは、議員が政策実現などを目的に結成するグループで、当市議会では構成員3名以上とし、届出を行うことで会派として認めています。

### ■ 会派に所蔵していない議員 ■

村山達也 議員 ・ 小林正夫 議員

※村山達也議員は議長職のため、中立公平の立場から所属会派から離脱します。

## 5月臨時会 議決結果

| 議案番号等  | 件 名                                    | 付託委員会 | 採決状況 | 議決結果 |
|--------|----------------------------------------|-------|------|------|
| 市長提出議案 | 57 信濃川の河川環境と水利使用の調和に関する覚書の締結について       | —     | 賛成多数 | 原案可決 |
|        | 58 令和7年度十日町市一般会計補正予算（第2号）について          | —     | 全員賛成 | 原案可決 |
|        | 59 令和7年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号）について | —     | 全員賛成 | 原案可決 |
|        | 60 令和7年度十日町市松之山温泉配湯事業特別会計補正予算（第1号）について | —     | 全員賛成 | 原案可決 |
|        | 61 令和7年度十日町市水道事業会計補正予算（第1号）について        | —     | 全員賛成 | 原案可決 |
|        | 62 令和7年度十日町市簡易水道事業会計補正予算（第1号）について      | —     | 全員賛成 | 原案可決 |

## 6月定例会 議決結果

| 議案番号等  | 件 名                                                        | 付託委員会   | 採決状況         | 議決結果 |
|--------|------------------------------------------------------------|---------|--------------|------|
| 市長提出議案 | 63 副市長の選任について                                              | —       | 全員賛成<br>(投票) | 同 意  |
|        | 64 監査委員の選任について                                             | —       | 全員賛成<br>(投票) | 同 意  |
|        | 65 人権擁護委員候補者の推薦について                                        | —       | 全員賛成         | 同 意  |
|        | 66 人権擁護委員候補者の推薦について                                        | —       | 全員賛成         | 同 意  |
|        | 67 人権擁護委員候補者の推薦について                                        | —       | 全員賛成         | 同 意  |
|        | 68 財産の取得について                                               | —       | 全員賛成         | 原案可決 |
|        | 69 財産の取得について                                               | —       | 全員賛成         | 原案可決 |
|        | 70 損害賠償の額を定めることについて                                        | —       | 全員賛成         | 原案可決 |
|        | 71 十日町市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について         | 厚生常任委員会 | 全員賛成         | 原案可決 |
|        | 72 十日町市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について | 厚生常任委員会 | 全員賛成         | 原案可決 |
|        | 73 令和7年度十日町市一般会計補正予算（第3号）について                              | —       | 全員賛成         | 原案可決 |
|        | 74 令和7年度十日町市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について                        | —       | 全員賛成         | 原案可決 |
|        | 75 令和7年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第2号）について                     | —       | 全員賛成         | 原案可決 |
|        | 76 令和7年度十日町市訪問看護事業特別会計補正予算（第1号）について                        | —       | 全員賛成         | 原案可決 |
|        | 77 令和7年度十日町市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について                       | —       | 全員賛成         | 原案可決 |
|        | 78 令和7年度十日町市介護保険特別会計補正予算（第1号）について                          | —       | 全員賛成         | 原案可決 |
|        | 79 令和7年度十日町市水道事業会計補正予算（第2号）について                            | —       | 全員賛成         | 原案可決 |

| 議案番号等  |    | 件名                             | 付託委員会 | 採決状況 | 議決結果 |
|--------|----|--------------------------------|-------|------|------|
| 市長提出議案 | 80 | 令和7年度十日町市簡易水道事業会計補正予算（第2号）について | —     | 全員賛成 | 原案可決 |
|        | 81 | 令和7年度十日町市下水道事業会計補正予算（第1号）について  | —     | 全員賛成 | 原案可決 |
|        | 82 | 令和7年度十日町市一般会計補正予算（第4号）について     | —     | 全員賛成 | 原案可決 |
| 議会提出議案 | 15 | 十日町市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について     | —     | 全員賛成 | 選挙   |
|        | 16 | 新潟県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について      | —     | 全員賛成 | 選挙   |
|        | 17 | 議員派遣について                       | —     | 全員賛成 | 原案可決 |

**賛否等の状況** 賛否が分かれた議案のうち、起立採決等により個々の賛否が明らかな議案について掲載。（○：賛成、×：反対、—：欠席）  
※村山達也議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

| 議案番号等 | 議決結果 | 賛成 | 反対 | かがやき |      |      |      |      |      | 希望   |      |      |       | 日本共産党<br>十日町市議団 |      |      | 新成会  |      |      |     | 無党派  |      |
|-------|------|----|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-----------------|------|------|------|------|------|-----|------|------|
|       |      |    |    | 富井高志 | 山家悠平 | 水落静子 | 鈴木一郎 | 市川直子 | 滝沢青葉 | 根津年夫 | 中林寛暁 | 遠田延雄 | 大嶋由紀子 | 滝沢繁             | 富井春美 | 樋口富行 | 星名大輔 | 野沢浩平 | 福崎哲也 | 俵山裕 | 小林正夫 | 村山達也 |
| 57    | 原案可決 | 15 | 3  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ×     | ×               | ×    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ※    |      |



# 初当選議員研修

## を開催しました

令和7年5月22日から23日にかけて、6月定例会を前に、初当選議員を対象とした研修会を開催しました。この研修では、市政全体の仕組みや各部門の業務内容について理解を深め、議会活動に必要な基礎知識を学ぶことを目的として実施しているものです。

研修を受講しての感想

どんな議員であっても、最初は無知から始まります。市ではどの部署で何が行われているのか、現状と課題の共有を行う大変良い機会となりました。今後の議員活動に反映し、役立ててまいります。

滝沢青葉

行政機関の各所管における事務及び職務内容に関し、改めて認識いたしました。また、多岐にわたる職種の中、職員の皆様によって、市政に御尽力いただいていることも改めて、認識しました。

俵山裕

二日間にわたり、市役所内の各部署や業務内容を分かりやすく学べました。多くの気づきがあり、紹介動画などで市民の皆様にも共有し、親しみや関心を持つきっかけになればと感じました。

市川直子

各課の業務内容の説明を聞く機会を与えて頂き、有意義な経験となりました。今後の市民からの相談案件に、関連する担当課と連携を取りながら、迅速にお答えできるよう努めてまいります。

野沢浩平

初めての経験で感動しました。市の職員の方々が、自分の仕事に誇りを持ち、丁寧に説明して頂き、この姿勢を一市民にも対応する事で、十日町市が明るくなると思いました。

樋口富行

# 松代小学校6年生が議会を傍聴しました



5月30日に松代小学校の6年生10名が、5月の臨時会を傍聴しました。普段入ることのない議場に足を踏み入れ、やや緊張した様子ながらも、真剣に議会の様子に耳を傾けていました。また、議長が公務の合間をぬって議長室に子どもたちを招き入れて見学していただくなど、貴重な体験の機会となったようです。



## 議会の中継・放送について

### ((●)) インターネットで

本会議の中継を配信しています。生中継のほか録画中継もご覧いただけます。ホームページからアクセスしてください。

十日町市議会

検索



### ケーブルテレビ

上越ケーブルビジョンで生中継しています。再放送は、会議開催日当日の午後7時からご覧いただけます。

### FMラジオ (FMとおかまち)

本会議での一般質問を、当日の午後7時から放送しています。

今号の表紙は

## 十日町総合高校写真部

の作品です。



写真部は今年、部員が12人に増えました。定期的な活動はありませんが、撮った写真を持ち寄って、良いところを吸収できるように頑張っています。最近は体育祭の写真の掲示し、多くの反響がありました。

それぞれの感性を表現でき、日常を記録し思い出を残せる写真の魅力を伝えていく写真部でありたいです。

【お問い合わせ】

### 十日町市議会事務局

〒948-8501

十日町市千歳町3丁目3番地  
市役所本庁舎3階

電話 025-757-3119

FAX 025-757-5999

あ と が き

蝉の声が響きわたる夏です。今年は、2月の豪雪、極端に雨の少ない梅雨(?)で例年になく気温の高い日々でした。この暑さが人や米、野菜、生き物等に及ぼす影響は大きいと思っています。

さて、今年は、改選の年でした。改選後や肉付け予算等の臨時会、第二回定例会と重要な審議が続きました。議員数は5議席減の19人となりましたが、新人議員も含め積極的に発言をする姿がありました。皆様の思いを背負ってきた自覚と行政を監視する機能を発揮する責務の現れと感じました。今後も、議会の様子や内容を分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。

富井春美